

入居企業紹介 その90

新しくSICに入居された企業をご紹介します。

SIC1-211

株式会社NEL

「夢は必ずかなう」



昨年11月、38年間代表取締役を務めた会社を新しい経営陣に引き継いだ。長年培ってきた発電装置関連設備の設計・製造・販売の技術と経験を基に、新たな研究・開発に取り組むことを決断した。その新たな取り組みとは、昨年の原子力発電所の事故が契機となって、今、脚光を浴びつつある環境にやさしい外燃機関であるスターリングエンジンによる小規模廃棄熱利用の小型発電装置の開発だ。

【事業紹介】

古くて新しいスターリングエンジンの小型発電装置の開発と製造販売を目指す。スターリングエンジンは、外部から「熱」を受けて稼働する外燃機関である。ガソリンやディーゼルエンジンのように内部で燃料を燃やし作動する内燃機関と違い、作動に燃料を選ばない。限りのある化石燃料を使わない太陽熱、温泉熱、バイオマス、排熱など様々な熱源を使用するシステムが可能であり、電気と温水が供給可能である。

スターリングエンジンは、一部の軍用潜水艦で既に実用化されているが、他のエンジンと比べて高価である。しかし、中規模コージェネレーション（一次エネルギーから動力と熱、あるいは電力と熱のように2種類以上の二次エネルギーを取り出すシステム）に対する地球規模での環境問題の解決に期待される技術の一つでもある。

他に、発電設備導入に掛かる技術サポートや、各種電気・機械設備の技術コンサルタントを請け負う。

【代表プロフィール】

株式会社NEL
代表取締役 西川 潤（にしかわ じゅん）63才
埼玉県生まれ 東京都目黒区育ち、現在八王子市南大沢在住。
趣味は、テニスと社交ダンス。南大沢に住居を移されてからご夫婦共にテニスを始め、
奥様を驚かそうと内緒で始めた社交ダンスも、今は一緒に練習に励んでいる。
これからゴルフも楽しみたいと、活動的な西川社長です。

【起業しようと思ったきっかけは？】

三井造船で船舶電気設備設計に従事していた西川社長は、6年後に脱サラで会社を設立、起業した。事業内容は、自家発電装置や船舶などディーゼルエンジンの制御盤の設計・製造・販売である。学生時代から世界を見たいと思っていた西川社長は、仕事で中国をはじめ東南アジア諸国、南米、中近東と各国を回るようになった。

【これからの夢または目標は？】

今、また第2の起業として第一歩を踏み出したばかりである。今まで出会った人々、これから出会う人々との様にかかわって行けるか楽しみである。

「夢に向かって行動する時、自らの芯を描き、時とタイミングと出会いが一歩ずつ成功へと進んで行くのだ」と西川社長は話す。

株式会社NEL
SIC-1 211
TEL: 090-7283-4330
Mail: newenergylabo@gmail.com



入居企業の皆様へご案内 6月の販売予定日 in SIC-1・2

かわせみの家



なくなり次第終了です。

<http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>

14日(木)

手作りクッキーや手作りケーキを販売します

営業時間 11:30 ~ 13:00

カリメーラ



NATURAL STYLE BAKERY

なくなり次第終了です。

<http://e-sagami.jp/karime-ra>

1日(金)

8日(金)

15日(金)

22日(金)

29日(金)

自家製天然酵母パンを販売します

営業時間 11:45 ~ 13:00

SIC-1 緑のカーテンについて



SIC-1の入口に、スナックえんどうを植えました。それぞれの苗で育ち具合に差があり、見ていると面白いです。一番大きく育っているものは、もう実がついています。皆様もぜひご覧ください。

(SIC 事務室)

ご案内

平成24年度国内見本市出展助成事業について

相模原市産業振興財団では、市内中小企業の皆様が開発した製品の販路開拓を支援するため、見本市・展示会へ出展する際の出展料の一部を助成します。

<助成の内容>

- 見本市・展示会への出展に際し、主催者へ支払う出展料を助成します。
- 助成額は、予算の範囲内で、出展料の2分の1以内(上限20万円)とします。
※対象が多いなどの場合、助成額が上限金額や出展料の2分の1に満たないことがあります。

- 出展料以外の経費(運搬料、電気工事費、ブース装飾費等)は対象となりません。

<助成の対象者>

相模原市内で1年以上創業し、自らが開発した製品を見本市・展示会へ出展する中小企業者及び団体とします。(ただし、製造業または情報通信業を営む方に限ります。)

<助成の対象事業>

- 国内で、平成24年4月1日~平成25年3月31日までに開催される見本市・展示会であること
- 出展についてほかの自治体や公的機関から一切の補助・助成をうけていないこと
- 物産展など即売を目的とするものではないこと など

詳しくは、相模原市産業振興財団にお問い合わせください。

◆お問合せ：公益財団法人 相模原市産業振興財団

URL: www.ssz.or.jp

TEL: 042-759-5600 FAX: 042-759-5655

住所: 〒252-0239

相模原市中央 3-12-3 (相模原市商工会館本館 4F)

2012年6月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理: 5月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

「かわせみの家」さん出店日

「カリメーラ」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 会議室8月分 予約受付開始	2
3 アントレ・インターン	4	5	6	7	8	9 *SIC-2 エレベーター点検 ヘルスサイコロジー研究所 土曜定例セミナー
10 アントレ・インターン	11 *SIC-1 エレベーター点検 **SIC-3 エレベーター点検	12	13 SIC-1 フィルター清掃	14 かわせみの家	15	16
17 アントレ・インターン	18 協創プロジェクト 交流会	19	20	21	22	23 経営塾
24 アントレ・インターン	25	26 SIC-2 フィルター点検	27 入居者交流会 SIC-3 受水槽清掃	28 SIC-3 飲料水水質検査	29 職場リーダー養成塾(合宿)	30

* エレベーター点検 9:30~11:00の間はご利用になれません。
** エレベーター点検 14:30~16:00の間はご利用になれません。

お問い合わせは 生井(内線1116)まで

SICのWEBサイトでもご覧頂けます。

断固、守るべきものは守り、変えるべきものは変えよ

ある方から、「重職心得箇条」佐藤一斎著を読んでみたらと紹介された。

例えば、【第三条】「家々に祖先の法あり、取失うべからず。又仕来仕癖の習あり、是は時に従て変易あるべし。兎角目の付け方間違うて、家法を古式と心得て除け置き、仕来仕癖を家法家格などと心得て主株せり。時世に連れて動かすべきを動かさざれば、大勢立たぬものなり。」

【現代訳】「祖先の定めた家法はどの家（藩）にもあり、その伝統は受け継いで大事に守らなければならない。その他に仕来りや慣習というものもあるが、こちらの方はその時の状況に応じて改正すべきものは改正してもよい。

ところが、これを取り違えて、守るべき伝統の家法を古めかしいものとして軽視し、いつでも改正できる仕来りや慣習の方を大事な家法のように守ろうとしたりするものである。時代の趨勢をよく見極め、その流れに対応して守るべきものは守り、変えるべきものは変える。重職たるもの、この判断力がなければ、天下の大勢に後れを取るものと心得ておかなければならない。」

（「佐藤一斎「人の上に立つ人」の勉強 坂井昌彦訳 知的生きかた文庫）

今日は「昨日の続き」ではない。時代の動きを鋭く読み取り、大勢に後れをとるな。素早く変化に対応すること。しかし、大切に守るものは守る。組織のリーダーとしての心構えを説いている。心に響く言葉である。

佐藤一斎 銅像

佐藤一斎は、1772年（安永元年）美濃岩村藩（岐阜県恵那市）出身の儒学者。門下からは、佐久間象山、横井小楠などの英才を輩出。孫弟子に勝海舟、坂本龍馬、吉田松陰らがいる。「言志四録」は代表作で、幕末の志士たちに大きな影響を与えたと言われている。

そして、「重職心得箇条」は、佐藤一斎が自藩の重臣のために書いた指導書。藩の重職についての心構えや目の付け所などの指摘が十七箇条で構成されている。その中の用語は、時代を感じさせる言葉ではあるが、幾つかの用語を現代風に読み替えれば、その内容は今日でもそのまま通用する。たとえば「重職」という言葉を、そのまま「重役」と読んでもいい。もう少し範囲を広げて「マネージャー」と読んでもいい。



私の好きな漢字!

【 エム・アイ・エス テクノロジー株式会社

尾川 智美さん
岡部 奈保美さん
鈴木 紀代美さん

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。

今月号ではSIC-2 306号室に入居されている、エム・アイ・エス テクノロジー株式会社の尾川さん・岡部さん・鈴木さんの3名にインタビューしました。

エム・アイ・エス テクノロジー(株)は、水晶デバイス・半導体デバイス・MEMS評価用ソケットの開発・販売、デバイス用の測定用装置類を販売している会社です。

その中で、尾川さんは技術担当の事務を、岡部さんは受注・出荷・請求に関する事務を、鈴木さんは経理を担当されています。

旅

尾川さんの好きな漢字は『旅』。

旅行が好きで、旅という字を見るだけでワクワクしてくるそうです。「グループ旅行も良いけれど、自由気ままに行動できる一人旅のほうがより一層好き」。一人旅は国内しか経験がないそうですが、今後は海外一人旅にも挑戦し、自信と度胸をつけていくことが夢だそうです。

縁

岡部さんの好きな漢字は『縁』。

以前、ご友人より「人の出会いには偶然ではなく必ず意味がある」という言葉を聞き、その時からずっと、この言葉を大事にしているそうです。

現在の会社で働いていることも、今回のインタビューも、全ての縁がきつと意味のある事だという岡部さん。
「縁を大切に、感謝しながら日々を送っていきます」

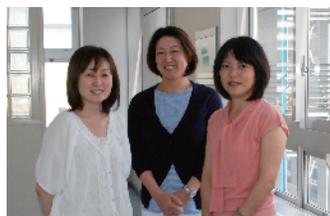
粹

鈴木さんの好きな漢字は『粹』。

この漢字はスカイツリーのライトアップイメージテーマにもなった漢字です。

鈴木さんが演劇少女だった頃、大好きな女優さんが、「いい女とは、粹で素直で優しいこと」と言っていたそうです。それ以来、そんな女性を目指してウン十年(?)。「ちっとも近づいてないですが、諦めずに今後も頑張ります」と語ってくださいました。

3者3様の漢字を披露していただき、ありがとうございました。



左より 尾川さん、岡部さん、鈴木さん

証言で綴る SIC の歴史

独立行政法人中小企業基盤整備機構
関東本部 企画調整部 企画調整課
佐本 耕平氏

この寄稿のお話をいただきまして、振り返ってみますと、当時3年間ほどお世話になった出向先のSICから今の職場に戻っては8年が経ったのかと感慨深く、しみじみと、そしてとても懐かしく感じています。

私の出向元の中小企業基盤整備機構（当時地域公団）では、インキュベーション事業を運営していく人材の育成に取組もうとしており、私はOJTをかねてSICで働かせていただくことになりました。2001年12月でした。ちょうどSIC-2を建設中の寒い日だったことを覚えています。

当時の社長、企画部長からは、ベンチャーを支援するこの組織（SIC）もまた、入居企業と同様設立間もないベンチャー企業であり、チャレンジ精神をもって挑まなければいけない、また、企業の支援をする会社が赤字であっていいはずがないと、常々叱咤を受け、相模原市役所や金融機関からの出向者の方にご指導いただき、右も左も分からない中で働いていました。

当時は、SICとしての柱となる事業をいかにつくっていくかという時期であり、いくつもの企画をトライ&エラーを重ね事業化していこうとするまさに創成期でした。現在もSICの事業として残る、子どもアントレプレナーシップ事業や、ヒューマンデザイン開発支援事業、SIC経営塾等は、当時立ち上げ今も残る事業ですが、逆に陽の目を見ずに消えていった（実現しなかった）事業も多々あったと思います。

入居企業や地域の企業のお手伝いをする立場のSICも、創成期の苦しい時期を乗り越え今も継続して精力的に活動できているのは、当時入居企業や地域の方に助けられ、また学び、入居企業の皆様それぞれが抱えてらした創成期の苦しみを目の当たりにしてきたからではないかと感

じますし、当時のスタッフのモチベーションになっていたのではないかと思います。SICの多くのスタッフはこうした自身のベンチャー企業としての経験をもとに、今も多くの企業の支援活動をされており、このような深い想いのたっぶりつまった濃密な空間を、これからも企業の皆様と共有し、企業の支援活動を変わずに行っていけるのだと思います。

SICの企業理念である、「相模原の大地に新しい風を起し産業の息吹を育み、新しいビジネスの創造を目指します。」は今後も脈々と受け継がれ、日本のベンチャー支援のフラグシップとして、多くの企業の皆様の夢をかなえる会社になられるべく発展していただきたいと思えますし、また、SICに入居され、卒業された企業が発展され、それぞれの夢を実現されることを切に願っております。



2003年4月撮影

山本のめし屋レポート

今回は橋本から遠く離れて港区虎ノ門。SICが機械振興会館内で運営するシェアードオフィス「T-BISC」の近くにある焼き鳥屋をご紹介します。

コンクリート打ちっぱなしの店内はオシャレなカフェバーのよう。

でも、雰囲気は気軽に立ち寄れる元気いっぱいの焼き鳥屋さんです。

大ぶりの焼き鳥と親子丼はとても美味です。

「焼き鳥を肴に立ち飲みでさつと一杯」といった方にお勧めします。

左上写真：せせり・鶏はらみ・つくね

左下写真：白肝



ランチ営業もやっていて、丼物がテイクアウトできます。

親子丼

■所在地 東京都港区虎ノ門 5-11-2 ■Tel 03-5733-4655 ■営業時間 11:30-14:00 / 17:00-23:30 ■定休日 日曜日

編集後記

5月の半ばより、入居企業の皆様に「SICかわらばん-入居企業版-」のアンケートをお願いしました。ご協力いただきありがとうございました。アンケートは現在集計中です。頂いたご意見をもとに、より一層皆様のお役に立つ「SICかわらばん」を目指していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター (SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話 :042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ : <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp